

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価（3月10日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①学習指導要領の主旨を踏まえ、生徒の特性等に応じた教育課程を編成し、適切に実施する。</p> <p>②社会の変化やニーズに対応し、生き抜くための資質・能力を養うため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進する。</p> <p>③「総合的な探究の時間」における探究活動の充実により、「自ら主体的に学び続ける力」の育成を図る。</p>	<p>①学習指導要領の主旨を踏まえた教育課程を引き続き定着させ、生徒の進路実現の観点から適切に実施する。</p> <p>②授業力向上研修のテーマに基づき、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを積極的に推進する。</p> <p>③主に2学年の探究活動のプログラムの改善点を明確にし、3学年の探究活動における深化推進を図る。</p>	<p>①生徒が自らの進路実現を見通したよりよい科目選択を行えるようにするため、説明会や資料の充実を図るとともに、DX化を円滑に実施する。</p> <p>②年間で授業力向上研修会4回、研究授業1回、授業互見週間2回に加え、公開研究授業では指導主事等の助言を仰ぐなど年間を通して授業力向上に努める。</p> <p>③1学年においては3分野のミニ探究を実施し、2・3学年は個別探究で各自のテーマ設定をし、自ら課題を発見させる。</p>	<p>①職員・生徒双方が教育課程の特長を理解し、適切な科目選択に繋がっているか。選択・提出・変更等の手続に瑕疵がなかったか。</p> <p>②生徒による授業評価の結果をグラフ化等することにより、教員の意識行動調査において改善が見られたか。</p> <p>③生徒が主体的に課題設定・活動し、成果物を完成させることができたか。</p>	<p>&lt;学習支援&gt; ①昨年度に引き続き、科目選択はDX化し、生徒・保護者とのペーパーでのやり取りは1往復のみとなり、その後の集約や変更も円滑に進めることができた。 &lt;開発・広報&gt; ②研究授業を含む年間5回の研修会実施を達成できた。今年度は研究授業を公開とし、新たに指導主事を招聘し指導助言をもらうなど「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進に引き続き注力した。 ③各学年の探究プログラムを実施し、思港Ⅲのレポートを電子図書館で公開した。公開することで生徒自身の取組にもプラスの変化が見られた。</p>	<p>&lt;学習支援&gt; ①現行の方法で科目選択等教務関係の手続きを固定してよいかどうか引き続き検証していく。  &lt;開発・広報&gt; ②研修会を通して、設定したテーマに即した授業展開がよりスムーズに行えるよう支援を行う。  ③生徒の主体的な校外活動を積極的に促せるよう職員の支援体制を整える。また、電子図書館での公開や成果物のデータ保存等により、</p>	DX化を進めたことによる効果によりどのように校務全般にメリットがあったのかなど、検証していつてはどうか。	<p>&lt;学習支援&gt; ①科目選択からクラス編成の業務の流れはほぼ定着し、効率的に進行できた。 &lt;開発・広報&gt; ②研修等での他教科との情報共有により教科特性への理解が深まった。同時にテーマ設定の難しさが浮き彫りになったが、授業力向上においては一定の効果があったと捉え、次年度も継続して掘り下げていく。 ③2学年の探究活動で、校外実施のアンケートの適切な手順とルールを考えさせ、キャリア教育と結びつけた。</p>	<p>&lt;学習支援&gt; ①DX化による業務の精選等、本質的な課題の洗い出しや解決を進めていきたい。 &lt;開発・広報&gt; ②生徒の課題解決力を育成する今年度のテーマを維持しつつ、教科の特性を活かすべく細分化してさらなる深化につなげる。 ③「総合的な探究の時間」の港北高校モデル確立を目指し、各学年のシラバスに改良を加えながら3年間で生徒の課題解決力育成の過程を追っていく。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりが安心して学校生活を過ごせるよう、安全な教育環境を確保し、支援体制の充実を図る。</p> <p>②生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒が主体的に活動できるよう支援し、社会性の育成に努める。</p> <p>③部活動を通して、日頃の学習習慣の確立を併せたタイムマネジメント能力の育成を図り、自主的な活動ができるよう支援する。</p>	<p>①基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成を図る。また、生徒の個別の課題への対応や支援体制の充実を図り、心身共に安全で健康な学校生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>②生徒が生徒会行事・学校行事を通して、自己効力感を高められるように、さらに生徒会本部と各種委員会との連携を進めていく。</p> <p>③かながわ部活の日に合わせて、部活動のさらなる活性化のために、部活動総点検を実施し、部活動の環境整備を行う。</p>	<p>①生徒指導方針を全職員で共通認識を図った上で、生徒の日頃の状況から問題点や要配慮の情報を把握、共有し、状況に応じて適切かつ組織的な対応に繋げる。</p> <p>②行事内容について生徒との意見交換を通し、生徒の主体的な関わりの下、内容の精選、質の向上に努める。また、ICTを活用し、新入生向けオリエンテーション、生徒会選挙や生徒総会を効率よく運営する。</p> <p>③生徒の安全面、健康面、学習面に配慮し、部活動総点検を実施し、結果を共有する。</p>	<p>①特別指導や問題行動の件数が減少したか。また、必要な支援に繋げることで、課題解決に至るケースがさらに増えたか。</p> <p>②行事後の振り返り等から、学校行事・生徒会行事を通して生徒の自己効力感が高められたか。</p> <p>③部活動を通して、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。</p>	<p>&lt;生徒支援&gt; ①1年間の目標に沿って組織的に生徒指導を進め、生徒の日頃の状況から問題点や要配慮の状況に応じて適切に対応している。 &lt;活動支援&gt; ②学校行事全般が生徒主体で運営され、体育祭ではコロナ明け初めて、太尾小学校の児童との玉入れが実現した。文化祭では、昇降口前やグラウンドを活用したステージ発表、中庭での後夜祭、グラウンドでの花火打ち上げをすることができた。 ③部活動総点検を実施し現状把握ができた。</p>	<p>&lt;生徒支援&gt; ①特別指導や問題行動に、迅速、的確かつ適切な対応ができるよう運用指針を見直している。  &lt;活動支援&gt; ②試行錯誤を重ねた行事運営を通じて、やればできるという自己効力感が高まったが、さらに多くの生徒が関心を持ち、積極的に意見交換し、その実現に向けて活動を行えるようにしていく。  ③部活動総点検の結果を受けて、改善点を具体化していく。</p>	<p>&lt;生徒支援&gt; ①生徒一人ひとりが安心して過ごせる教育環境を確保し、支援体制を充実させることができた。一方で若者の多様な問題行動に対応する体制が必要である。 &lt;活動支援&gt; ②様々な生徒会行事を通して、生徒が主体的に試行錯誤を重ね、やればできるという課題への突破口を見出すことができた。 ③部活動補助費の各部への配分方法を検証し、生徒が主体的に活動できる環境を整えた。次年度も部活動総点検を実施し、課題改善を図る。</p>	<p>&lt;生徒支援&gt; ①生徒の問題行動が起きた場合、迅速かつ適切な対応ができるよう、特別指導の運用指針と手順を抜本的に見直し、策定に向けて動いている。 &lt;活動支援&gt; ②今後、さらに多くの生徒が他者と連携し、社会性を育んでいけるよう支援する。 ②各行事の担当者間の引継ぎを確実にを行うと共に、改善に向け検討を進める。 ③本年度の部活動補助費の変更部分を3年間は継続して</p>	

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月10日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①3年間を見通した体系的なキャリア教育を実践する。希望する進路実現に向けた能力を育成する。</p> <p>②多様な進路希望に対応する進路支援体制を充実させる。</p>	<p>①3年間のキャリア教育を構築し、生徒が主体的・段階的にキャリアプランを構想し実現する力を育成する。</p> <p>②多様な進路希望に対応するため、進路実現に向けた生徒への支援体制を充実させる。</p>	<p>①3年間の進路説明会や行事の計画の実施と見直しを図る。模試の活用を充実させる。</p> <p>②変化する入試に対応できるように進路情報の提供や教員の共通理解を進め、組織的、継続的な視点をもって進路支援体制を構築する。</p>	<p>①計画的に実施できたか、必要に応じて見直しを行うことができたか。また、模試の活用ができたか。</p> <p>②多様な進路相談に対し、適切な対応ができたか。</p>	<p>①進路計画に則り、各学年で進路説明会等を行っている。新たに生じた課題を協議の上適切に対応した。</p> <p>②共通テストの出願方法が学校一括から個人出願へ変更等、入試情報・出願のWeb化に対応した指示伝達を意識した支援を行った。</p>	<p>①各学年で生じている課題を、年間を通じた視点で改善することを検討した。</p> <p>②今後もWebを利用した出願等が増加する傾向にあり、今年度新たに対応した指導を来年度へ確実に伝え、マニュアル化する。</p>	<p>①本校の実態に合わせて模試を変更した。データの整理と生徒への還元をより効果的に行うかが課題となった。</p> <p>②情報の収集と共有を行い、トラブルなく対応できたが、口頭伝達による即対応が多くみられた。</p>	<p>①模試の結果に対するデータ処理を本校の生徒に即した「見える化」がよりできるように、意思疎通を図る。</p> <p>②口頭伝達で対応した事項を整理し、マニュアル化を進める。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との連携・協働を進め、「地域から信頼される学校づくり」を推進する。</p> <p>②保護者・地域への情報提供に努め、家庭・地域の支援体制を充実させる。教育活動や成果を情報発信し、広報活動を進める。</p>	<p>①学校行事や地域行事等において、地域と連携した教育活動を実施する。</p> <p>②本校の教育活動について、学校HPや学校説明会等において積極的に情報を発信する。</p>	<p>①近隣小中学校や地域と行事等を通じて交流を図る。</p> <p>②学校HPにおいては、新規情報を、学校HPに正確に配信する。学校説明会等においては、本校の特色を積極的に伝える。</p>	<p>①地域との連携・協働を推進することができたか。</p> <p>②新規情報を、学校HPに正確に配信することができたか。学校説明会等で、本校の特色を十分に伝えることができたか。</p>	<p>&lt;開発・広報&gt;</p> <p>①地域イベントのボランティア募集の広報活動を行い参加希望生徒へのサポートを行った。地域貢献デーを利用し、太尾小学校と交流活動を実施した。</p> <p>②学校HPにおいて、新規内容の改定を随時行った。</p>	<p>&lt;開発・広報&gt;</p> <p>①地域連携における生徒主体の活動について検討する。</p> <p>②各部活動のHP更新率が低い。学校行事について複雑な情報提示部分を修正する。掲載内容がわかりにくい部分を改善していく。</p>	<p>①太尾小学校との地域連携事業を「交流事業」として実施し、高評価を得て、継続的な交流の基盤を構築することができた。</p> <p>②新たな取組として、1月に学校見学を設け、HPにて広報した。放課後の短い時間にかかわらず連日多くの来校者を迎えることができた。</p>	<p>①地域イベントのボランティア生徒募集では参加者数にばらつきがあり、募集時期と対象生徒を精査し、効率的な広報活動へつなげる必要がある。</p> <p>②校内へ向けてHP更新率を上げるよう協力を仰ぐだけでなく、地域へ向けて見やすいHPの作成に注力する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒たちが過ごす教室環境の整備に努め、安心・安全な学校生活を推進する。</p> <p>②ICT環境の点検整備を推進し、授業等に支障のないよう努める。</p> <p>③学校運営協議会により課題を明らかにし、地域や外部機関等との協働などにより、課題解決を進める。</p> <p>④職員のワークライフバランスを充実させるため、働き方改革を推進する。</p> <p>⑤生徒が安心して通い学ぶことができるように、コンプライアンスの徹底と不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①毎日実施する清掃活動の用具を点検整備し、効率的な清掃活動が実施できるよう支援する。</p> <p>②ICT環境の問題点を洗い出し、整備できるように計画を立てる。</p> <p>③学校運営協議会により、課題を明らかにし、課題解決に努める。</p> <p>④働き方改革の推進により職員のワークライフバランスの充実と業務の適正化、効率化を推進する。</p> <p>⑤事故不祥事防止及びコンプライアンスの徹底を図り、安心・安心な教育環境づくりを推進する。</p>	<p>①汚損した机椅子や清掃用具を速やかに交換していく。</p> <p>②-1 機器の故障時の連絡体制を構築する。</p> <p>②-2 ICT支援員の配置により、ICTの効果的な利活用の体制を構築する。</p> <p>③学校運営協議会を年3回開催し、本校の教育活動等について委員から評価をいただくとともに、課題の解決策を講じる。</p> <p>④-1 グループ業務の見直しを図るとともに、衛生委員会やオフィス改善チームを中心として労働環境の整備を図る。</p> <p>④-1,2 職場アンケート等で課題等の可視化を図る。</p> <p>⑤事故不祥事防止を全職員が自分事と捉えられるよう、あらゆる機会を活用し意識啓発を行う。</p>	<p>①危険な状態で使用している机等がないか。清掃用具は十分に揃っているか。</p> <p>②-1 ICT機器の状態を把握できているか。</p> <p>②-2 授業や校務におけるICTの活用が更に活発になったか。</p> <p>③課題を明らかにすることができたか。また、解決策を策定し、解決することができたか。</p> <p>④-1 業務分担が適正に行われたか。</p> <p>④-2 職場アンケートの結果において改善点や更なる課題が確認できたか。</p> <p>⑤事故不祥事防止の意識啓発につながったか。</p> <p>⑤昨年度のヒヤリハット事例が改善されたか。</p>	<p>&lt;管理運営&gt;</p> <p>①年度の切り替えや行事等を機に椅子等を整備した。</p> <p>②-1 ICT関係の窓口を管理運営Gの担当者に一元化し、連絡調整の効率化を図った。</p> <p>②-2 ICT支援員を活用し、校務や授業でのICT活用を推進した。</p> <p>&lt;学校運営&gt;</p> <p>③学校運営協議会での意見や課題を共有し、事業に反映させた。</p> <p>④-1 オフィス改善事業による職場環境の整備を行った。</p> <p>④-2 産業医からの助言をもとに、より働きやすい職場環境の整備を進めるため、職場アンケートを実施し、環境改善を進めた。</p> <p>⑤ICT支援員に依頼を依頼し、個人情報の管</p>	<p>&lt;管理運営&gt;</p> <p>①日常的に点検をし、不備があれば報告できる環境を検討する。</p> <p>②-1,2 ICT支援員の協力も得ながら校務、授業への活用を引き続き推進していく。</p> <p>&lt;学校運営&gt;</p> <p>③委員からの意見や協議の結果を実践につなげる方策を検討する。</p> <p>④-1 次年度の校内体制整備に向け、業務の精選等を検討する。</p> <p>④-2 職場アンケートの結果から課題を洗い出し、労務管理を適切に行う。</p> <p>⑤入学者選抜業務を含め、個人情報等重要情報の取り扱いに対する一層の事故防止に向けた意識啓発を行っていく。</p>	<p>&lt;管理運営&gt;</p> <p>①年間を通して環境整備を行えた。</p> <p>②-1 ICT支援員と協力し、校務等のICT活用を進めた。</p> <p>&lt;学校運営&gt;</p> <p>②-1,2 オフィス改善による職場環境整備を行い、新たな課題や意見に対し、可能なものから対応を進めた。</p> <p>③学校運営協議開催により外部との意見交換の場を設定することができた。</p> <p>④衛生委員会で職場の課題を協議し、労務管理に反映させた。</p> <p>⑤事故不祥事防止を、さまざまな機会を活用し、自分事として</p>	<p>&lt;管理運営&gt;</p> <p>①日常的な管理を含め、安全安心な教育環境の整備に継続的に努める。</p> <p>②-1 ICT支援員の活用については引き続き校内でも周知や検討する。。</p> <p>&lt;学校運営&gt;</p> <p>②-1,2 衛生委員会によるアンケートや事務室との協力により継続的に環境整備する。</p> <p>③学校運営協議会の内容を継続的に検証し有効性のある会議とする。</p> <p>④衛生委員会の活用や業務分担の見直し等を継続して行う。</p> <p>⑤複数チェック、マニュアルや規則に則って行う等、基本的な部分を押さ</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 ( 3月10日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
						理に向けた校内研修を行った。			とらえられるよう意識啓発を行った。	え、引き続き事故不祥事防止啓発を行う。